

## 営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

### 9月は野菜栽培の繁忙期！

9月は、葉菜・根菜類の種まき、育苗・植え付け、間引き、追肥・土寄せなどの作業が並行的に行われ、繁忙期を迎えます。

適度な降雨があると、秋野菜の植え付けも順調に進みます。植え付けの際には高畝にして湿害を防ぎましょう。夏の暑さが落ち着き、気温が上がらなくなってきたら、十分な生育量が得られなくなります。残暑が続いているうちに、種まきや植え付けを済ませるようにしましょう。

**種まき**  
ホウレンソウ、コマツナなどの種まきが本格化します。暑さが続いている場合は、種まき後に遮光ネットなどで被覆します。ネットを張ったままだと徒長（茎や枝が必要以上に伸びること）しやすく、そのため、本葉が4〜5枚になったら取り除きます。ホウレンソウは特に暑さに弱いため、涼しくなるのを待ってから種をまきます。

**植え付け**  
レタス、ブロッコリーの苗は、本葉4〜5枚に育った頃が植え付け

適期です。ブロッコリーは畝幅60センチ、株間45センチに植え付けます。レタスはポリマルチを張り、植え付けます。気温の高い時期は白黒マルチ（表が白・裏が黒）、定植時の気温が下がるにつれて黒色マルチ（表が黒）を使います。

**間引き**  
筋まきをしたホウレンソウ、コマツナは発芽後に密生している株を間引き、本葉2〜3枚の頃に株間3〜4センチにします。

**台風に備える**  
適度な降雨は「恵みの雨」となる一方、長雨・台風は農作物の作況に大きく影響します。台風が発生したら被害軽減を図りましょう。  
①菜園を囲むように暴風ネットを張る。

- ②種まき、植え付け間のない野菜には寒冷紗やネットを直掛けして保護する。
- ③生育中のブロッコリー、キャベツ、ネギなどは株元に土寄せを行う。
- ④風で傷付きやすいナス、ピーマン、キュウリなどの果実は小さくても早めに収穫する。
- ⑤台風通過後には株の倒伏、茎葉の損傷、病気の誘発などがあるため、早めに殺菌剤を散布する。

**問い合わせ**  
農業振興課農業振興係  
0824・73・1131

## 庄原が好き



比和町の人と自然が大好きな  
足立 綾子さん

一度は比和町から離れても「やっぱり比和がいい」と帰ってくることを選んだ足立さんに、話を聞きました。

### 比和の自然が大好き

私は三次市で生まれ育ち、建設会社を営む夫と結婚して比和町に移り住みました。結婚前から山登りなどで比和にはよく来ており、自然が豊かな場所に住めることがうれしかったです。

結婚当時は、夫の会社が本場に忙しく、私も建設業に携わりました。元々乗り物を運転することが好きだったので、4トントラックに乗ったり、重機の免許を取得したりしました。道路の草刈りもして、冬には早朝から除雪車のオペレーターに連絡するなど、何でもこなしました。結婚前までしたことのない農業も始め、いつも体を動かしていたと思います。

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。

最後に夫が亡くなりました。

友だちや地域の人たちに支えてもらいながら一人で暮らしていましたが、私が体調を崩したこともあり、石川県金沢市に住む娘のところへ移り住むことになりました。

### 比和町に帰りたい

金沢市での住まいは、商業施設や病院などが近くとても便利でしたが、その分交通量が多く、ずっと静かな場所で暮らしてきた私には合わないと感じました。比和の人と自然が恋しくなり、悩みましたが約3カ月後に比和に戻ってくることを決断しました。

比和に帰ってきた時、周りの人たちの反応が少し心配でしたが、みんな「お帰り！」と言ってあたたかく迎えてくれて、「やっぱり私の住む場所はここだ」と実感しました。

比和に帰ってきて4年。社会福祉協議会のボランティアや町内のそば店の手伝いに出たり、豊浦さん（8月号掲載）の寺ヨガに参加したりしています。

なんでも話せる友達がいて、やっぱり比和が一番好きだと思えますし、ずっとここに住み続けたいと思っています。

**問い合わせ**  
自治体住居推進係  
0824・73・1257